

必ず一読の上、施工作業を行って下さい。

エバポレーター消臭・抗菌施工の作業手順とご注意

必ずエンジンを切ってから作業して下さい

①排水ホースをさがす

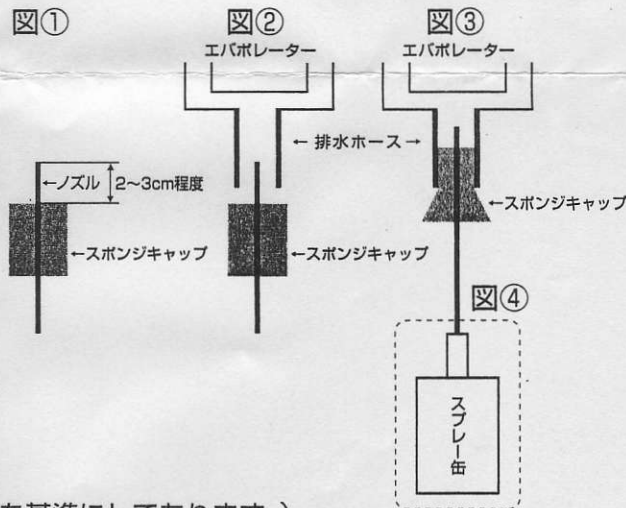
- ・ボンネットを開ける。
- ・クーリングユニットから出ている排水ホース（エアコン使用時に、水がポタポタ落ちるホース）を探します。
- ・エンジンルームからホースが確認できない場合ジャッキアップをして、下から探して下さい。
※ディーゼル車はエンジン本体よりブローパイホースが出ている場合があります（旧式車等）。
間違いやすい為、充分注意して下さい。
- ・ツインエアコン装着車はクーリングユニットが2ヶ所ある為、2ヶ所からの施工が必要です。
（1ヶ所1本使用の為、2本必要です。）（施工困難な車種も有ります。）

②ノズルを入れる

- ・付属のスポンジキャップをノズルにセットします。
- ・ボンネットを開け排水ホースに手が届く場合は上から作業をします。
- ・下からの作業時にはジャッキアップをおすすめします。
- ・ノズルは排水ホースから入れます。
（ノズルの入れ過ぎに注意して下さい。手順内②参照）
- ・ホースにスポンジキャップをねじ込んだ状態でスプレーをして下さい。
（片手でねじ込みが難しい場合は、ドライバーのような長い物で差し込むとスムーズに作業出来ます。但し、ねじ込み過ぎると排水ホースにスポンジキャップが残る場合がありますので、入れ過ぎには気をつけて下さい。）

<手順>

- 図①のようにスポンジキャップをノズルに通した状態にします。
- 図②のように排水ホースにノズルを差し込みます。
②注 ノズルを入れ過ぎた状態でスプレーした場合はクーリングユニットより液があふれ出てトラブルの原因になる場合があります。
- 図③のように、スポンジキャップを1/2ねじ込んだ状態にします。スポンジがねじ込みにくい場合は、ドライバー等でスポンジキャップを押し込んで下さい。
- 図④のように、スプレーをセットします。



③スプレーをする（ワンタッチ方式）

- ・スプレー缶は、必ず垂直の状態にして使用して下さい。

④注入液量の目安

- ・本品1本を使い切って下さい。
- ・車種、排気量に関係なく一定量で効果はあります。（普通乗用車を基準にしてあります。）

⑤約15分間そのまま、放置します。

- ・ムースの泡がクーリングユニット内で広がって内部を消臭・抗菌コートをした後、余分な液が流れでます。
- ・ボンネット内に忘れ物が無いが、十分確かめる。
- ・ボンネットを閉める。

⑥作業は以上で終了。

⑦作業終了後の注意事項

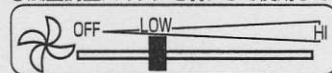
- ・エンジンをかける場合は、エアコンスイッチを切って下さい。
※オートエアコンは十分注意して下さい。
- ・施工後のエアコンの使用は右記を参照して下さい。

ポイント

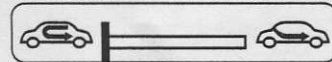
- ・消臭効果期間は約6ヶ月が目安です。
（使用状況により効果期間の変化はあります。）
- ・臭いが出て来ましたら再施工をおすすめします。
- ・冬期間の作業方法も同様の作業です。

●エアコンをすぐに使用する場合

◎風量調整スイッチを弱にして使用して下さい。……（約1時間）



◎空気循環スイッチを内気循環にして使用して下さい。……（約1日）



●エアコンを使用されない場合

◎空気循環スイッチを内気循環にしておいて下さい。……（約1日）

